

正社員の採用予定 59.3% 4年ぶりに上昇 人手不足背景に意欲回復

企業規模により採用意欲に格差
大企業に比べ中小企業は採用意欲低く

東海4県・2026年度の雇用動向に関する企業の意識調査



本件照会先

稲熊 浩明(調査担当)
帝国データバンク
名古屋支店情報部
052-561-4846

発表日

2026/04/17

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2026年度の正社員雇用は、『採用予定がある』東海4県の企業は59.3%と4年ぶりに上昇した。継続する人手不足、退職や高齢化にともなう補充需要の増加が背景にあるほか、事業拡大を見据えた“攻めの採用”の動きもみられた。採用形態は「新卒」36.9%に対し「中途」51.6%と中途採用が上回った。また、非正社員の採用予定は45.0%と3年ぶりに増加した。採用意欲は高まっているものの、中小企業では大企業との賃金格差による応募数の少なさや既存社員との処遇調整など、多くの課題が残されている。

- ※ 株式会社帝国データバンク名古屋支店は、東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)の企業を対象に、「2026年度の雇用動向(採用)」に関するアンケート調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2026年2月調査とともに行った
- ※ 調査期間:2026年2月13日~2月28日(インターネット調査)
- ※ 調査対象:東海4県の2520社、有効回答企業数は1126社(回答率44.7%)、全国は2万3568社、有効回答企業数は1万416社(回答率44.2%)

正社員『採用予定がある』割合は 59.3%、4 年ぶりに上昇

東海 4 県(愛知、岐阜、三重、静岡)の企業に、2026 年度(2026 年 4 月～2027 年 3 月入社)の正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』(「増加する」「変わらない」「減少する」の合計)企業の割合は前回調査(2025 年 2 月実施)から 0.7 ポイント増の 59.3%(全国は 60.3%)となり、4 年ぶりに前の年度を上回った。県別では、愛知 57.0%、岐阜 61.9%、三重 61.7%、静岡 61.4%。また、採用予定がある企業の内訳は、採用人数が「増加する」企業が同 3.0 ポイント増の 23.6%となった。

他方、『採用予定はない』は同 0.6 ポイント増の 29.3%と 3 年連続で増加した。県別では、愛知 31.9%、岐阜 24.5%、三重、静岡各 27.5%。

正社員の雇用動向(採用)

	正社員採用 (%)					
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない
2005年度	74.6	29.2	37.9	7.5	18.2	7.2
2006年度	69.8	29.3	33.6	6.9	20.4	9.8
2007年度	71.3	29.2	33.0	9.2	20.7	8.0
2008年度	66.8	23.6	32.8	10.4	25.2	8.1
2009年度	49.4	11.5	23.0	14.8	42.3	8.3
2010年度	44.9	15.6	17.2	12.1	45.2	9.9
2011年度	54.3	20.2	23.6	10.5	35.5	10.3
2012年度	58.2	22.9	26.1	9.2	33.1	8.7
2013年度	59.0	22.2	27.5	9.3	32.1	8.9
2014年度	61.4	24.8	28.8	7.9	28.2	10.4
2015年度	65.3	25.4	30.7	9.1	25.3	9.5
2016年度	65.3	25.7	30.2	9.4	24.9	9.8
2017年度	65.7	25.1	31.3	9.3	25.3	9.0
2018年度	67.4	27.8	31.7	7.8	22.5	10.2
2019年度	66.1	23.7	31.3	11.1	22.4	11.5
2020年度	61.3	20.2	29.8	11.3	26.2	12.5
2021年度	57.1	21.2	27.2	8.8	31.6	11.3
2022年度	64.7	25.5	32.1	7.1	25.3	10.0
2023年度	63.9	23.9	31.1	8.9	24.8	11.4
2024年度	61.7	24.6	27.8	9.4	25.9	12.3
2025年度	58.6	20.6	29.7	8.3	28.7	12.7
2026年度	59.3	23.6	27.2	8.5	29.3	11.4

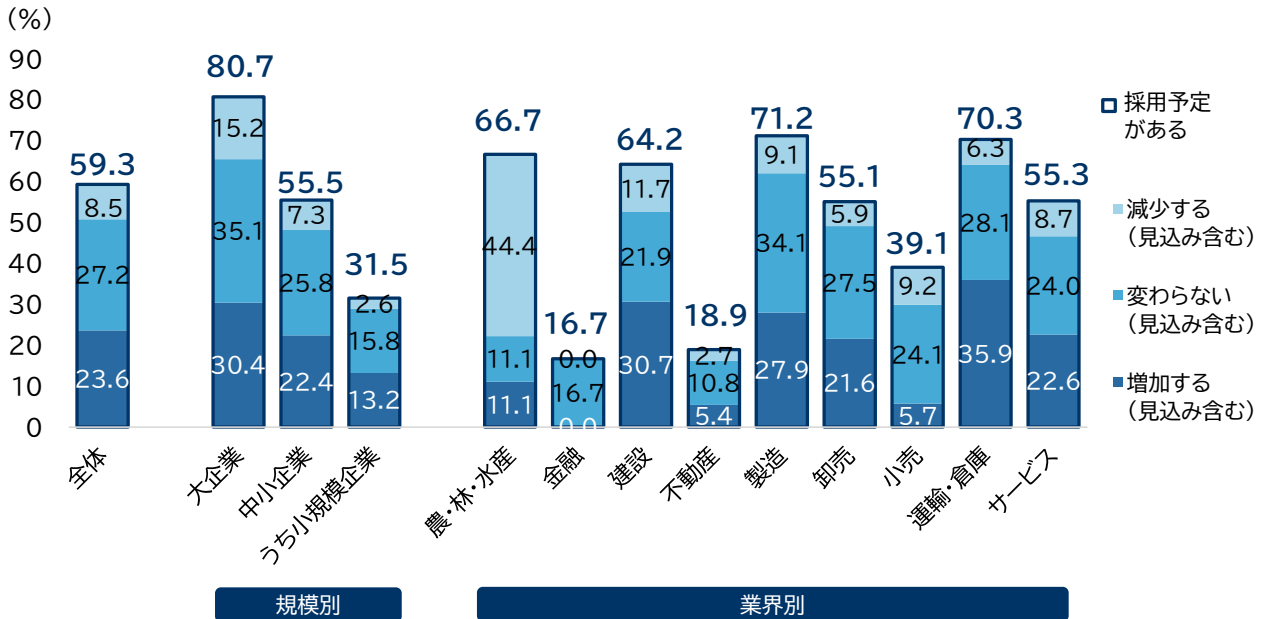
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

正社員『採用予定がある』割合、製造がトップ

規模別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、「大企業」は 80.7%と全体(59.3%)を大幅に上回った。一方で、「中小企業」は 55.5%、うち「小規模企業」は 31.5%となり、企業規模が小さいほど割合が低くなる傾向がみられた。

業界別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、「製造」が 71.2%で最も高かった。また、2024 年問題もあって深刻な人手不足に直面している『運輸・倉庫』が 70.3%、『建設』が 64.2%で高くなった。

正社員『採用予定がある』割合 ～規模・業界別～



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

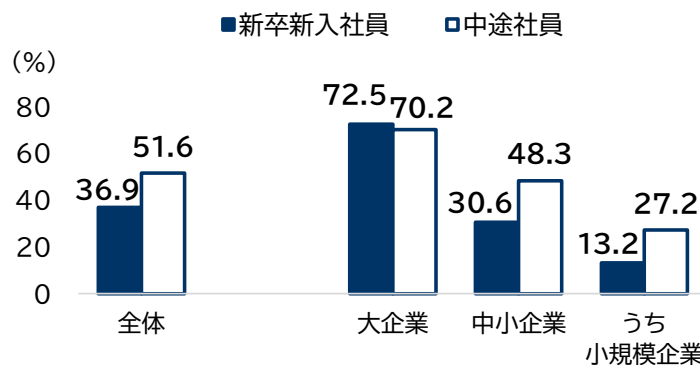
正社員採用予定、新卒新入社員は 36.9%、中途社員は 51.6%

2026年度の正社員の採用状況を採用形態別に尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）企業の割合は、「新卒新入社員」が36.9%、「中途社員」が51.6%となった。

規模別にみると、「大企業」では「新卒新入社員」が72.5%、「中途社員」が70.2%だった。他方、「中小企業」では「新卒新入社員」が30.6%だったのに対し、「中途社員」は大幅に高い48.3%となり、大企業に比べて中途採用をより重視する傾向がうかがえる。

近年、人材確保のための初任給が上昇傾向にあり、それによる採用コスト負担の増大や、教育リソース不足が新卒採用の障壁となっている。大企業との賃金格差が構造的な制約となっており、中小企業の新卒採用を一層困難にしているものとみられる。

正社員の採用～新卒新入社員と中途社員～



非正社員『採用予定がある』割合は 3 年ぶりに増加

2026 年度の非正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）企業の割合は前年度比 2.2 ポイント増の 45.0%となり 3 年ぶりに増加した。県別では、愛知 44.0%、岐阜 40.8%、三重 49.2%、静岡 47.3%。

一方、『採用予定はない』企業は同 1.9 ポイント減の 38.9%となり、3 年ぶりに減少した。県別では、愛知 39.4%、岐阜 40.1%、三重 35.0%、静岡 38.9%。

非正社員の雇用動向（採用）

	非正社員採用 (%)					
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない
2005年度	67.9	17.3	44.7	5.8	21.7	10.4
2006年度	61.4	17.2	37.6	6.6	25.8	12.8
2007年度	59.9	16.3	36.8	6.7	29.7	10.4
2008年度	53.8	12.3	32.6	8.8	35.3	10.9
2009年度	30.8	4.5	12.9	13.4	58.4	10.8
2010年度	28.2	6.6	13.2	8.5	59.8	12.0
2011年度	36.8	9.9	18.7	8.2	50.3	12.9
2012年度	40.0	9.6	21.5	8.9	47.8	12.3
2013年度	43.3	9.6	24.3	9.5	44.7	12.0
2014年度	49.0	12.4	27.7	8.9	38.1	12.9
2015年度	53.0	13.5	32.1	7.4	34.5	12.6
2016年度	50.7	13.1	30.2	7.4	36.8	12.6
2017年度	50.1	16.7	26.4	7.0	36.2	13.6
2018年度	57.1	17.5	31.9	7.7	29.6	13.3
2019年度	54.2	14.8	31.0	8.4	33.0	12.9
2020年度	45.0	8.9	26.1	10.0	39.6	15.4
2021年度	39.9	10.3	22.0	7.7	45.3	14.7
2022年度	50.2	14.1	29.7	6.4	38.8	11.0
2023年度	50.3	12.5	30.9	6.9	36.0	13.8
2024年度	47.6	12.5	29.1	6.0	38.2	14.3
2025年度	42.8	9.4	27.3	6.1	40.8	16.4
2026年度	45.0	10.7	28.5	5.9	38.9	16.1

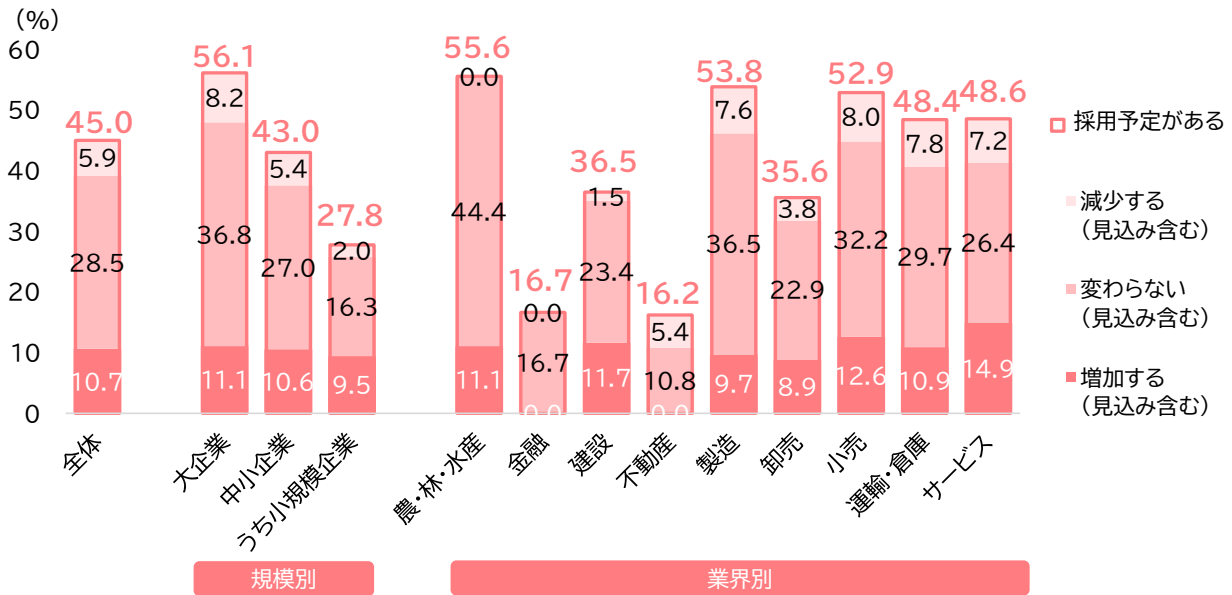
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

非正社員『採用予定がある』割合、製造が高水準

規模別に非正社員の『採用予定がある』割合をみると、正社員と同様に企業規模が小さいほど割合が低くなっている。

業界別では、『農・林・水産』が 55.6%で最も高く、『製造』が 53.8%、『小売』が 52.9%と 5 割を超える高水準だった。

非正社員『採用予定がある』割合 ～規模・業界別～



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

<参考> 企業からの声

	主な企業からの声	業種 51 分類
採用予定がある	採用活動をして、応募者がいない	メンテナンス・警備・検査業
	派遣社員の数を減らしていきその分正社員数を増やしていきたい。仕事を継続的にやっていこうという姿勢を求めたい	化学品製造
	4 月から正社員の入社は決まっているが正社員、非正社員とも足りておらず求人媒体を使用し募集をかけているため採用はできると考えている	サービス (その他サービス)
	常に求人していて、応募者もあるが、質的に確保が難しい状況	人材派遣
採用予定はない	若い社員の定着率が特に悪くなってきた。従って労働者不足で中途採用を行わざるを得ない	飲食料品・飼料製造
	採用したいが利益が出ていなくて赤字のため採用できない	建設
	能力のないものを採用することは結果としてマイナスにしかならない	サービス (広告関連業)
	人を採用して売り上げが上がればよいが、結局コスト倒れとなることが多く採用まで至らない	繊維・繊維製品・服飾品小売
	日銀の利上げによる長期借入金の利息増、仕入れ材料や外注費、経費等の高騰により中小企業にとって新たな採用はかなり厳しいのが現状。現従業員の賃上げの財源をどこから捻出するのが課題となっている	建設
売上が増えれば採用したい	飲食料品・飼料製造	